

事務事業名	図書館管理運営事業			事業コード	10051200101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	斉藤 由喜子
事業対象	坂井市民全般、および市内通勤者、通学者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】

地域社会の情報拠点として、幼児から学生、高齢者までの幅広い利用者の生涯学習の推進を図る。

【事業内容】

- 図書館資料の収集、整備、貸出、情報提供  
各館市民のニーズに添った資料の収集、レファレンスに努めた。
- 子ども読書活動推進  
毎週土曜日に開催するおはなし会や、文学講演会、小学生を対象とした図書館見学ツアー、図書館おすすめの本を入れた福袋の貸出、本を6回借りた人に手作り菜をプレゼントする「めざせ！どくしょめいじん」などを実施している。また、年間を通して七夕飾り作り、人形劇を観る会、植物の名前を聞く会、読書感想画展、クリスマス会など、各館数多くのイベントを開催している。更に、小学校の各クラスへの団体貸出しも行い、読書の普及に努めている。
- ブックスタート事業  
5～6か月児の育児相談時に、図書館員が出向き、赤ちゃんとその保護者に絵本を読み、乳児からの読み聞かせの大切さを伝えている。
- 施設の維持管理  
春江図書館天窓のロールカーテンの設置、事務室空調入替、三国図書館椅子カバーの張り替え、丸岡図書館屋根瓦・雨樋修繕、蛍光灯の安定器の取り換え等を行った。

【事業の目的・事業の概要等】

すぐのできる改善提案	図書館サービスの向上のためには、資料の充実是不可欠です。資料の予算を確保するためにも、運営管理の内容の総点検を実施し経費削減を図っていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	坂井図書館を除く3館においては、築年数が経過しているため修繕等の費用を支出しました。その他のものについては経費削減に努めました。	
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財源の中で図書館運営を図っていくためには効率的な運営により経費を削減し、また図書館全体の事業の見直しも図ります。また、システム統合の利便性を生かした資料の収集を行い利用者のニーズに応えます。子どもの読書推進活動の推進を図り読書環境の改善をしていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	システム統合の利便性を生かしサービスの低下にならないよう留意しながら、効率の良い資料購入に努めました。子どもの読書活動の推進においては、ブックスタート事業の開始や講演会や、各館での行事などを行い、充実を図りました。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費						
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度				
		報酬	90	千円	90	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	9,567	千円	9,185	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	14,748	千円	13,945	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	1,047	千円	992	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	40,031	千円	35,637	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	65,483	千円	59,849	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	17.75	人	124,747	千円	15.30	人	108,768	千円	人	千円
		臨時職員	19.00	人	47,975	千円	18.08	人	37,100	千円	人	千円
		人件費合計	36.75	人	172,722	千円	33.38	人	145,868	千円	人	千円
	総事業費		238,205	千円		205,717	千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金		千円		千円		千円		千円	
			使用料・手数料		千円		千円		千円		千円	
			分担金・負担金		千円		千円		千円		千円	
			地方債		千円		千円		千円		千円	
その他			399	千円	269	千円		千円		千円		
一般財源			237,806	千円		205,448	千円		千円		千円	
財源合計		238,205	千円		205,717	千円		千円		千円		

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	図書の出貸、資料収集、図書情報の提供等は、市民のニーズに適合していますので、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市民サービスへの必要性が高い施設のため、このまま市が実施主体となって実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井図書館以外の3館については、建築後20年～30年以上経過していることから、補修や修繕を実施しながら施設の延命化を図り、市民のニーズに応じていきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	図書館サービスの維持向上を図るために、現状の人員を維持します。			
すぐのできる改善提案	図書館サービスの向上を図るためには、資料の充実是不可欠です。資料の予算を確保するためにも、管理運営内容を検討しながら、効率的な経費の運用に努めます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	限られた財源の中で、図書館への市民ニーズに応えていくためには、効率的な管理運営により経費を削減するとともに、事業の見直しを含めて検討いたします。また、障がい者に適した施設・運営となるように、施設やサービス面の改善に取り組んでいきます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度				
成果	市民一人あたりの貸出冊数	目標値	8.4	達成率	8.3	達成率	8.2	達成率	8.1	達成率
		実績値	8.9	105.95	8.9	107.23	8.5	103.66	8.5	104.94
活動	図書資料費	目標値	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率	24,000	達成率
		実績値	23,600	98.33	23,000	95.83	23,000	95.83	28,000	116.67
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	記念文庫等管理運営事業 丸岡			事業コード	10051205101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	斉藤 由喜子
事業対象	坂井市民および市内通勤者、通学者、全国の研究者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無	図書館法			
根拠例規	無	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】

中野重治氏、小葉田淳氏、今川節氏の蔵書、楽譜、遺品などの維持管理・収集を行うとともに、ふるさとの文化的先駆者としての顕彰を図る。

【事業内容】  
○中野重治氏を偲ぶ「くちなし忌」の開催や講演会の開催  
第35回くちなし忌及び記念講演会の開催、今川節没80年記念コンサートの開催、小葉田淳記念文庫歴史講演会などを開催し、市内外から多くの参加者を得た。  
○各文庫の資料の収集・整理  
中野重治文庫、今川節の部屋への貴重な寄贈資料の受け入れ、保存に努めた。  
○生家跡の維持・管理  
樹木の剪定、定期的な除草、清掃など維持管理に努めた。

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費				
コスト	事業費	平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	299	千円	294	千円	千円	千円	千円	
		需用費	66	千円	188	千円	千円	千円	千円	
		役務費	3	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	167	千円	124	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	535	千円	606	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	1.25	人	8,785	千円	0.80	人	5,687	千円
		臨時職員	0.30	人	758	千円	0.05	人	103	千円
		人件費合計	1.55	人	9,543	千円	0.85	人	5,790	千円
	総事業費		10,078	千円	6,396	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		10,078	千円	6,396	千円	千円	千円	千円		
財源合計	10,078	千円	6,396	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度		
成果	中野重治記念文庫見学者数	目標値	150	達成率	150	達成率	150	達成率
		実績値	350	233.33	150	100	167	111.33
成果	小葉田淳記念文庫見学者数	目標値	50	達成率	50	達成率	50	達成率
		実績値	350	700	60	120	65	130
活動	講演会参加人数	目標値	200	達成率	180	達成率	180	達成率
		実績値	350	175	265	147.22	180	100
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

すぐにできる改善提案	市民に対しての講演会や諸行事を開催しながら啓発していきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	第35回「くちなし忌」や歴史をテーマにした記念講演会を開催し、多くの市民の参加を得ました。
中長期的に取り組むべき改善提案	記念文庫関係の研究者が保有する貴重な資料についての寄贈の受け入れや収集に努めながら、記念文庫の充実への取り組みを進めていきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	貴重な資料の寄贈については、その都度内容を検討・精査し、保存管理に努めました。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	ふるさとが生んだ偉大な作家・中野重治および歴史学者・小葉田淳の蔵書を保存し、偉業を後世に伝えていくため、当事業を継続していきます。また、文庫等で保存している貴重な資料の整理方法を検討していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	坂井市保有の財産を保存管理していくため、現状どおり実施主体を坂井市（坂井市立図書館）とします。文庫に保管されている貴重な資料や寄贈された蔵書の整理、ふるさとの偉人の顕彰に努めます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	保存管理に必要な維持経費をこのまま維持します。なお、必要に応じて、事業費を増額します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	人員は基本的に現状を維持します。専門的な事柄で、人材が必要な場合は、臨時的に雇用し、対応していきます。			
すぐにできる改善提案	くちなし忌や歴史講演会、講座などの事業の見直しを図りながら継続していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	記念文庫の研究者からの寄贈の申し出が増加する傾向にあるので、保存する棚の増設等を図ります。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】